

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

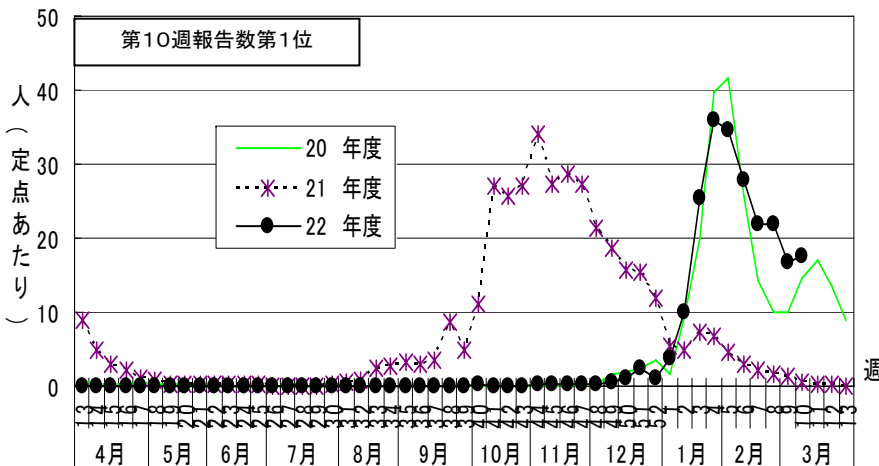


KAWASAKI CITY

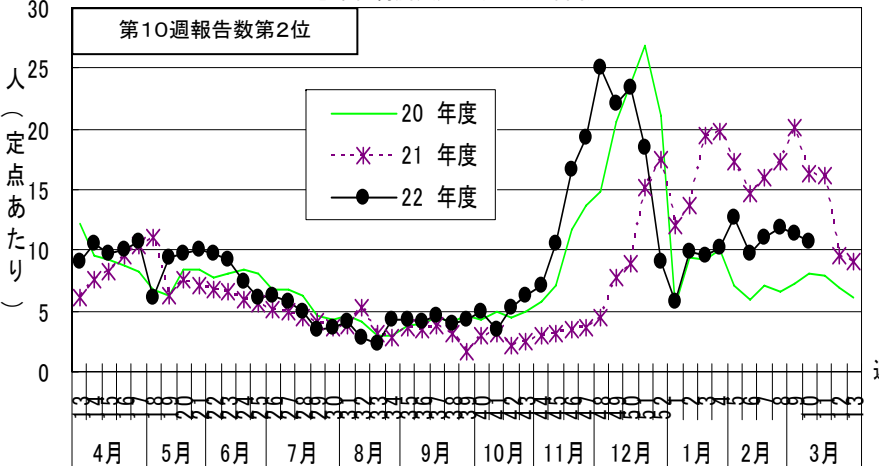
平成23年3月7日（月）～3月13日（日）〔第10週〕の感染症発生状況

第10週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり17.65人と前週（16.63）より患者報告数はわずかに増加しております。また、第10週においても、市内10施設（小学校8施設、幼稚園2施設）から学級閉鎖の報告がありますので、今後も集団感染を防止する対策が重要です。
 なお、全国的な状況と同様に、本市においてもB型インフルエンザウイルスの検出割合が増加しておりますので、今シーズンすでにA型インフルエンザと診断された方についても、引き続き注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



災害発生に備えて！！～避難所等での注意点～

東北地方太平洋沖地震に際しては、東北地方を中心に被災された方が避難所等に避難され、そこでの生活を余儀なくされている状況にあります。

地震等の災害に備え、食料品や衛生用品等を備蓄することも重要ですが、それとあわせて、避難所等における食中毒や感染症予防について理解しておくことも非常に大切なことです。

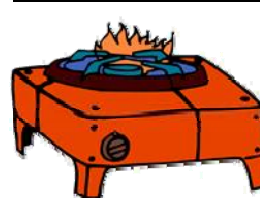
そこで今回は避難所等における食中毒や感染症の発生予防について留意すべき点を次のとおり紹介いたします。

①手洗いの励行



食事の前やトイレの後などには必ず手を洗いましょう。可能であれば、擦り込み式エタノール剤やウェットティッシュ等を準備しましょう。

③調理時の加熱処理等



加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌するとともに、下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を取り扱う作業をしないようにしましょう。

②食料の保存に際しての温度管理



食料は、冷暗所での保管を心がける等適切な温度管理を行うようにしましょう。

④トイレ及び排泄物の衛生的な管理



糞便や吐物は感染症の感染源となりうることから、トイレの清掃や排泄物の処理を適切に行いましょう。消毒には市販の塩素系漂白剤を使用することが適切です。

⑤咳や発熱等の症状を有する者への対応



咳(せき)などの症状を認める者には、症状が軽微であっても、避難所内においては、常時マスクを着用する等の協力を要請しましょう。発熱等の症状を有する者については、速やかに医師の診察を受けさせ、必要な治療を開始しましょう。